



# 全国女性部協議会について

## ビジョン

女性がもっと輝きつづけられる資源循環業界へ

## 活動理念

女性の本来の役割である「創造」「育成」「守る」を活動理念として、女性視点で新たな価値を生み、横断的な関係構築、人材を育成することで、社会から信頼される持続可能な廃棄物業界の発展に貢献します

## 活動方針

女性が前向きに頑張れる環境づくりのための活動の企画・運営を目指します

# 全国女性部協議会活動目的について

資源循環業界の女性が気軽に情報収集したり、交流できるプラットフォームのような場づくりができるコミュニティを形成です。  
同じ業界内での横の繋がりを作ったり、業務に必要な知識や情報を収集できる機会を誰でも持てるようになることで、働くモチベーション向上に繋がります。  
同じ業種、環境、立場で働く女性たちの心のよりどころになるようなコミュニティにしたいと思えます。

# 組織体制

女性ならではのゆるいコミュニティを形成

11都県女性部会長・幹部役員中心に編成

### 運営チーム

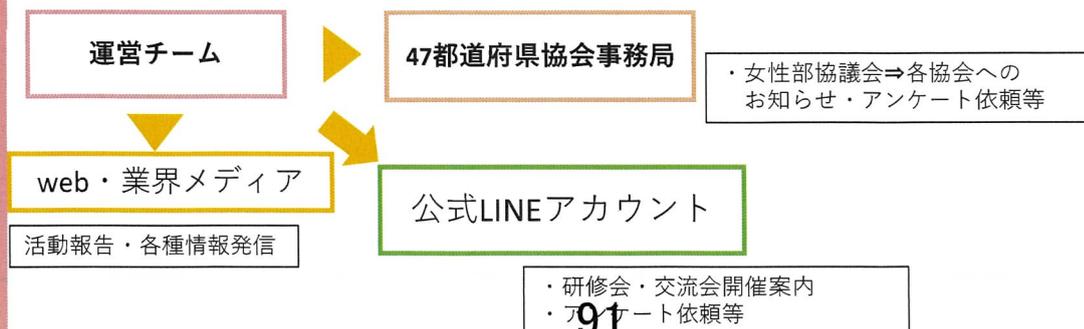
二木（関東地域協議会女性部会長）・東久保（愛知県女性部会長）・武本（兵庫県女性部副会長）

研修会・交流会企画チーム

調査・情報収集チーム

47都道府県協会に所属する会員企業に所属する女性経営者及び女性従事者

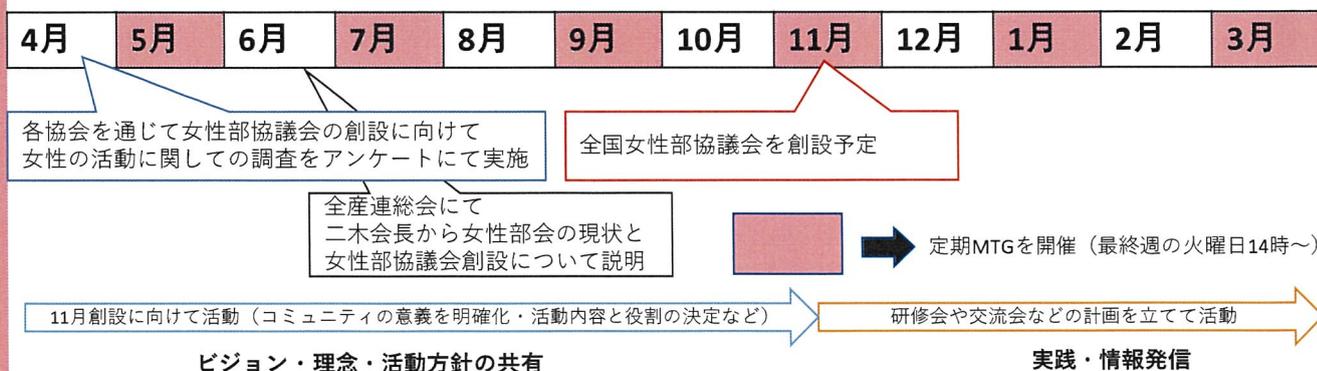
# 情報発信フローについて



## 活動実績（令和3年度2021～2022年）

5月24日	環境新聞主催女性部会座談会を開催 (9都県女性部会部会長参加)
6月14日	二木・東久保・武本 名古屋でMTG
6月30日	環境新聞に座談会の記事が掲載
7月13日	二木・東久保・武本と女性部協議会創設について相談（全産連）
7月27日	第1回全国女性部会定期MTG（議題：全国女性部会ネットワークを作ることにについて意見交換）
9月28日	第2回全国女性部会定期MTG（議題：各女性部会の活動と現在の課題など）
10月21日	中部地域協議会全体会議に東久保参加
11月19日	第10回関東地域協議会女性部会主催「つどい」開催 和歌山県松田会長を講師に招き講演、ブレイクアウトルームでの交流会を開催
11月30日	第3回全国女性部会定期MTG（議題：女性部会の在り方について）
1月25日	第4回全国女性部会定期MTG（議題：SDGs 勉強会・アンケート内容について意見だし）
2月24日	二木・東久保・武本 永井会長、森谷専務、桑田参与とMTG
3月29日	第5回全国女性部会定期MTG（予定）

## 活動計画（今後のアクションプラン）



## 活動内容（従来の活動から継続予定）

活動内容	開催方法その他	開催時期
オンライン研修会	各女性部会が開催するものを情報共有	随時
交流会	コロナの状況を見てリアル開催（関東or名古屋or関西で開催）	未定
集い	女性部会のつどいを引き続き開催（コロナの状況によりリアル又はオンラインでの開催）	11月
施設見学会	和歌山県の松田会長の会社を予定	未定

※交流会・集いに関して全産連のイベント時（総会・全国大会開催時）に同時開催を希望

## 青年部との棲み分けについて

	青年部協議会	女性部協議会
事業内容	<b>情報基盤整備事業</b> <b>地域ブロックの活動支援事業</b> <b>全産連への活動支援</b> <b>各委員会活動の推進</b> ①全国大会準備委員 ②安全衛生委員会 ③教育研修委員会 ④異業種交流委員会	<b>情報発信</b> 既存広報ツールを活用（てき丸君ニュース） 業界メディアを活用（共同企画等） <b>調査研究</b> 各都道府県協会に所属する企業へのアンケート調査等の実施 <b>教育研修</b> 労働環境の改善を含む実務的教養
期待できる効果（成果）	れん楽網等の連絡ツールの構築 人脈ネットワークの強化 全産連との連携事業の確立 業界内の安全衛生の推進 トラック協会等の交流	業界内外の <b>情報発信力の強化</b> 会員企業の <b>ニーズの把握</b> 人材力と現場力の <b>質の向上</b> 他業界との <b>情報交換機会の創出</b> <b>課題解決</b> のための事業提案

組織力の強靱化

業界のイメージアップ

## 活動に関する収支について

項目	収入と支出について
賀詞交歓会及び総会など開催時について	会費を徴収
定期ミーティング	オンライン開催のため費用無し
研修会、施設見学会、他業種との交流会	参加者より参加費を徴収
Webサイト、連絡ツール	無料のものを使用
研究調査費用	47都道府県協会にご協力いただくため、費用無し
旅費交通費	交通費等は、各自負担
その他	商品開発や仕入れ等の費用が発生する場合はクラウドファンディングで調達

# 女性がもっと輝き続けられる資源循環業界へ

## 現在

全国の女性部会のネットワークの構築  
仕組み化を推進

社会的にも女性活躍推進の流れが業界のイメージにも影響してくる時代に

- ・令和4年から女性活躍推進法の改正により常時雇用者数101人以上の事業主にも女性が活躍できる行動計画を策定・公表を義務付け
- ・国・自治体による女性が働きやすい職場環境整備に活用できる補助金が支給される制度、認定制度が増えている
- ・各業界団体でも女性部会の設置や設立を推進する動きが増えているなど、事業継続する上で必要な情報格差が生じることで労働環境の改善が遅れることによる人材不足の深刻化に繋がっていくことの懸念

解決

業界のイメージアップにつながる人材確保しやすい業界に女性視点での構造改革も可能に

廃棄物処理業界において各都道府県単位での女性部会設置が難しい

- ・女性の役員割合が低い
- ・協会活動に参加できる女性が少ない
- ・周囲の理解が得られにくい地域も

解決

協会に女性部会を創設しなくても、協会会員企業の女性経営者、従事者であれば参加できる仕組みの構築が必要

女性部会の活動が負担になるのを懸念する意見も多い

- ・協会の活動の負担が本業に差し支えるのは避けたいという不安
- ・女性部会の会員は、女性経営者に限られておらず一般従事者にとっては、会議など仕事を抜けて参加するのが難しいという意見がある。
- ・女性部会の活動について、前例や情報も少ないため、何をどう活動すればいいのかわからないという意見も多い。

解決

現在ある11部会の女性部会との共同活動を可能にすることにより、知識、教養を身につけ、スキルアップや情報収集力の向上に繋がる機会が増える

女性も活躍しやすい業界にするためには**全国女性部協議会ネットワークを構築し、情報収集やスキルアップの機会を公平に持てる交流できる組織作りをすることで、地域や企業規模による情報格差をなくす**ことにもつながると思います。

## 経産省と東証の「なでしこ銘柄」選定 女性活躍の推進で企業を評価

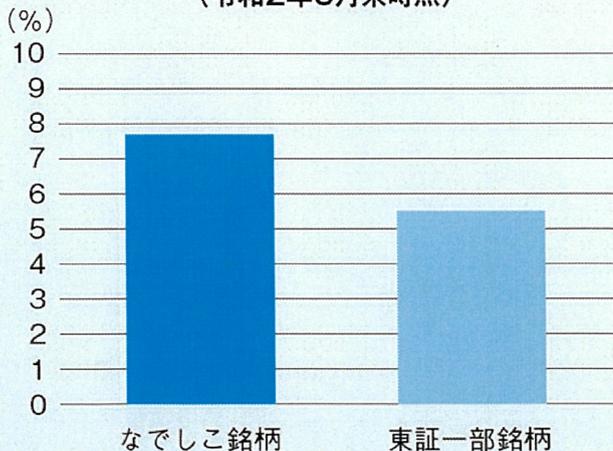
田中 智子（経済産業省 経済産業政策局 経済社会 政策室係長）

経済産業省と東京証券取引所（東証）は共同で、女性の活躍推進に関し優れた上場企業を「なでしこ銘柄」に選定している。

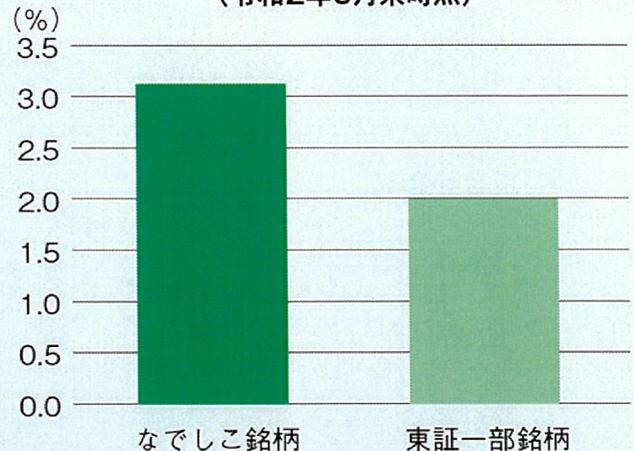
経営陣が男性ばかりでない企業は業績パフォーマンスが高い

「令和2年度『なでしこ銘柄』レポート」によれば、2020年度になでしこ銘柄となった企業45社には、売上高営業利益率や配当利回り（2020年3月末時点）で、東証一部銘柄の平均値を上回る、比較的高い業績パフォーマンスが見られた。

令和2年度選定「なでしこ銘柄」の売上高営業利益率  
(令和2年3月末時点)



令和2年度選定「なでしこ銘柄」の配当利回り  
(令和2年3月末時点)



国としても女性リーダー育成事業に力を入れており、女性が活躍する企業ほど業績、社会的評価ともに良いという結果が出ていることから、廃棄物処理業界においても、女性活躍推進を積極的に進めていくことにメリットを感じます。